KAWASAKI CITY MUSEUM 川崎市市民ミュージアム

報道発表資料
2017年８月４日（金）

報道関係者各位　＜ご取材・ご掲載のお願い＞

開幕１ヵ月を前に１万人突破！自由研究のヒントにもおすすめ
夏休み特別展「からくりトリックの世界」

～ 親子・家族連れに大好評！涼しいミュージアムで参加体験型の展覧会を楽しもう ～

神奈川県川崎市にある博物館と美術館の複合文化施設「川崎市市民ミュージアム」（館長：中山純史）では、８月 20 日（日）まで夏休み特別展「からくりトリックの世界」を開催中です。「服部正志 トリック 3D アート」展と「高橋みのる 現代からくりアート」展の２つの展覧会による構成で、目で見て鑑賞するだけではなく、実際に作品と触れ合える参加体験型が大好評。夏休みの親子連れを中心に、７月８日（土）からの開幕１ カ月足らずで来場者数１万人を突破しました。

企画展示室１「服部正志 トリック 3D アート」展では、日本を代表する 3D アート作家・服部正志氏のユニークな作品が壁や床に 30 余点並び、自由に写真撮影が可能。「世界冒険の旅ゾーン」「日本ゾーン」「不思議がいっぱいゾーン」の３つのテーマ構成で、大きな口を開けた赤ちゃんに食べられてしまったり、土俵上で力士に突き飛ばされてしまったり、ジェットコースターに乗ってみたり…。平面の作品がカメラのレンズを通すと 3D に見える“錯覚”の不思議は、夏休みの自由研究のヒントにもぴったり。また、想像力豊かな子どもたちの演技力に驚く親御さんも多く、ご家族で楽しめる展覧会です。

企画展示室２「高橋みのる 現代からくりアート」展では、首都圏初の展覧会開催となる高橋みのる氏の木工からくり作品を 50 余点展示。木のあたたかみを感じる作品の多くに、実際に触って遊ぶことができます（※）。１番人気の作品は、木工からくりとプロジェクションマッピングが融合した新作「コログラッド」。２本のレバーでボードの傾きを操り、木製のボールを制限時間内にゴールまで運ぶボードゲームで、思い通りに操作できないもどかしさに、子どもから大人まで夢中になってチャレンジしています。
（※）モーターで動く歯車、クランク、軸などは危険なので触れません。

緑豊かな等々力緑地内に位置し、夏でも涼しい館内には常設の博物館展示やミュージアムライブラリーなど無料で楽しめる施設も豊富。ミュージアムショップには錯視やからくりをテーマにした関連商品も多数ご用意し、夏休みの宿題にもオススメです。親子・ファミリーでの夏休みのお出かけスポットとして、ぜひ貴媒体にて当企画展をご紹介いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

◆夏休み特別展「からくりトリックの世界」開催概要

＜企画展示室１＞「服部正志　トリック 3D アート」展
＜企画展示室２＞「高橋みのる　現代からくりアート」展
【会　　期】開催中～8 月 20 日（日）
【会　　場】川崎市市民ミュージアム　2F 企画展示室１・２
【開館時間】９時半～17 時（最終入館は 16 時半まで）
※会期中の土曜日は～19 時（最終入館は 18 時半まで）
【休 館 日】毎週月曜日
【観 覧 料】２展覧会共通：一般 500 円（400 円）
65 歳以上・大学生・高校生 400 円（300 円）
中学生以下無料
※（ ）内は、20 名以上の団体料金
※障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料。
【主　　催】川崎市市民ミュージアム

※以下の写真はサンプルです。肖像権の都合、記事への転載はご遠慮いただけますようお願いいたします。

◆企画展示室1◆

服部正志 トリック3Dアート展

OK

このほか全 30 余点を展示！遊びごたえたっぷりです。

ポーズの見本があるので、真似して撮るのも楽しい！

＜作家プロフィール＞

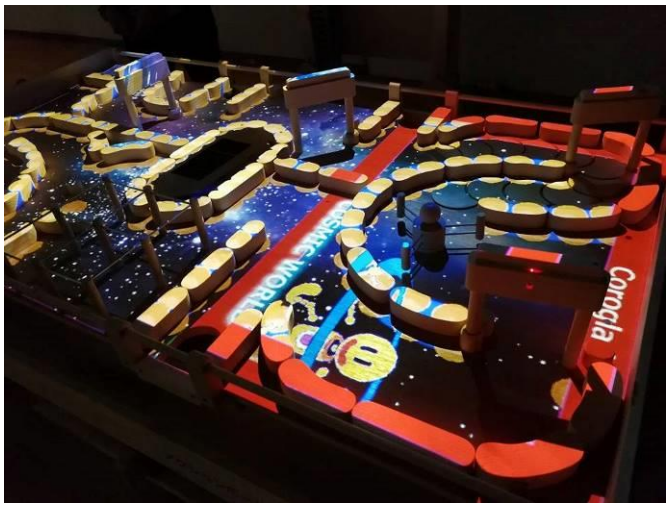
服部正志

1962 年生まれ。多摩美術大学 絵画科卒。埼玉県在住。派手なトリックと斬新な表現で国内を代表する 3D アート作家として知られるようになる。国内外で「トリック 3D アート展」「魔法の絵画展」を開催。エンターテインメント性を持ちながら斬新でクオリティの高い 3D アートを作る事に精力を注ぐ日々を送っている。

◆企画展示室２◆

モーターで動く歯車、クランク、軸などには触れないでください

高橋みのる 現代からくりアート展



★新作！アクションボードゲーム★「コログラッド」

上部に取り付けられたプロジェクションマッピングにより、木製のボード上に「海」「森」「宇宙」の３種のステージを投影。そのボード上に木製のボールを走らせ、手元の２本のレバーで操作し、ゴールを目指そう！

制限時間は２分間。途中でボールが穴に落ちたらゲームオーバー！

電動で動く巨大カマキリとトンボ。細部までじっくりと見つめたくなる作品。

三日月、満月、昆虫、海の生き物、「ウサギとカメ」…多彩なモチーフの作品たち。

＜作家プロフィール＞

高橋みのる

1959 年青森県八戸市生まれ。80 年代から木工を始め、2000 年 TV チャンピオン（テレビ東京）「木のおもちゃ職人選手権」優勝。国内外の美術館や学校機関のために木工や からくりを制作、発表しており、大学の非常勤講師も務めている。

補足：無料で利用できる館内施設のご紹介

＜２Ｆ　博物館常設展示室＞

川崎の成り立ちと歩みを考古、歴史、民俗などの豊富な資料で紹介しています。

◇民俗
稲作を中心とした生活が営まれてきた多摩川沿いの農村生活を紹介。年中行事や祭り、講のほか稲作の道具などを展示しています。

◇原始
市域の遺跡のなかでも旧石器時代から弥生時代までの出土品を展示。子母口貝塚から剥ぎ取った実際の貝層も見られます。

◇古代（古墳時代～平安時代）
様々な出土品のほか、市内にある馬絹古墳の石室を縮小した模型や、橘樹郡家推定地である伊勢山台遺跡周辺のジオラマなどを紹介。

◇中世・近世１
当時川崎にあった荘園に関する文書を展示。供養のために立てられた石碑など信仰に関する資料もご覧いただけます。

◇近世２
江戸時代の川崎とそこでの暮らしに関する資料を展示。山や海辺に暮らした人々の生活や、川崎宿の様子などをご覧いただけます。

◇近代・現代
川崎の近代以降について、臨海部の工業地化や埋立地の拡大、鉄道を軸とした交通網の発展、戦争中の市民生活、戦後の公害問題などの特徴的な出来事を関連資料とともに紹介しています。

＜３Ｆ　ミュージアムライブラリー＞

■ビデオコーナー：TV ドキュメンタリー、映画、ビデオアートなどのビデオ視聴
■図書コーナー（所蔵約 10 万冊）：当館の展覧会図録・発行図書、全国の美術館図録、美術、写真、グラフィック、考古、歴史、民俗に関する図書および漫画のほか、1981 年から 2012 年までにテレビ・ラジオで放送された脚本・台本の閲覧利用ができます。

＜川崎市市民ミュージアム施設概要＞

■住所：〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力 1-2（等々力緑地内）
■開館時間：9:30～17:00（入館は 16:30 まで）
■休館日
月曜日(休日の場合は開館)、祝日の翌日(土日の場合は開館)、年末年始
■観覧料
企画展、アートギャラリー展は展覧会によって異なる。博物館展示室は無料。
＊障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は、観覧無料。
＊20 名以上の団体でご利用いただく場合、割引有。

■アクセス／下記いずれもバス停「市民ミュージアム前」下車すぐ
・武蔵小杉駅（JR 南武線、横須賀線・湘南新宿ライン、東急東横線・目黒線）よりバスで約 10 分
・武蔵溝ノ口駅（JR 南武線）・溝の口駅（東急田園都市線・大井町線）よりバスで約 20 分
・JR 川崎駅よりバスで約 40 分

【お問い合わせ、取材のお申込み、画像使用に関するご要望は下記までご連絡ください】
川崎市市民ミュージアム（指定管理者：アクティオ・東急コミュニティー共同事業体）営業・広報担当／鋒山（ほこやま）・坂下・石澤
TEL: 044-754-4500　FAX: 044-754-4533　MAIL: pr_kcm@kawasaki-museum.com
HP:　http://www.kawasaki-museum.jp/